# 都難言協会報

東京都公立学校難聴・言語障害教育研究協議会


## 難言教育の専門性向上のために

東京都公立学校難聴・言語障害教育研究協議会
会長　渡邊　俊一（西東京市立芝久保小学校）

通級指導を行う担当教員は、限られた時間の中で、それぞれの子供の実態に即した効果的な指導を行わなくてはなりません。そしてその指導は、大変専門的であり、高度なものです。しかしながら現状では、「経験の浅い教員の育成をどうするか」「一人一人の指導力向上をどう図るか」ということが切実な課題です。難聴・言語障害等に関する知識や指導方法について真摯に学び、専門的な力量を高めることがすべての担当教員に求められています。

子供たち一人一人の豊かな成長のためには、難聴・言語障害教育に携わる教員が、その専門性を深めると同時に、子供の発達状況を全体的に見取る広い視野をもつことが望まれています。そのためには、意図的かつ計画的に研修を積み重ねていくことが必要です。

進むべき方向を示し、研修の機会を提供する、本会が担う役割はとても大きいことを自覚し、各種研究活動のさらなる充実を図る必要があります。今般のコロナ禍に負けないように、知恵を尽くして活動を工夫し、前進していきたいと思います。

東京都教育委員会をはじめ、関係の皆様には、今後も引き続き、御指導と御鞭撻をお願い申し上げます。

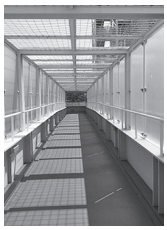
◆主な内容◆


一面　会長挨拶　新設学級紹介
二面　課題に応じた支援方法や連携
三面　感染症対策：こんなことで困っています
四面　卒業生保護者の声
専門委員会より　研究会案内他


### ✿新設学級の紹介✿〔御成門中学校　あおい学級（きこえ）〕

「港区立御成門中学校　あおい学級」

御成門中学校に今年度開級された「あおい学級」は、向かいにある御成門小学校「ことばときこえの教室」の中にあります。教室名の「あおい」は御成門中学校の校章となっている、花の「葵」が由来となっています。生徒数３名、教員１名でスタートしたこの教室が葵の花言葉にあるような「大きな望み、大きな夢」「豊かな実り」「温和、優しさ」そんな気持ちを育める教室にしていきたいという願いが込められています。始まったばかりでまだまだ成長途中の学級と生徒を温かい目で見守ってくださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



中学校から小学校への渡り廊下

中学校から見た校庭（右側１階に「あおい学級」）

ロビー・共有部分

### ✿新設学級の紹介✿〔八王子いずみの森　義務教育学校〕

今年度より、市内小学校「きこえの教室」が、第四小学校及び柏木小学校から、本校「前期課程きこえとことばの教室」に統合されました。小学生を対象とする市内難聴学級は１校となり、全70校が対象です。

市内中学校「きこえの学級」は、第五中学校から本校「後期課程」に移設されました。中学生を対象とする難聴学級として、市内にとどまらず、近隣市町村の中学生も引き続き対象としています。

前期課程と後期課程の連携を密にして、指導をしていきます。

### ホームページのご紹介

きこえとことばの教室のことを知っていただくために、教室を設置している小中学校に関する情報や都難言協の会報、統計資料、リーフレットなどを公開しています。また、会員は資料配布の場として利用しています。更に充実したHPにしていきたいと思います。

https://www.tonangen.com/

# ことばときこえの教室に通っている子どもたち

## ～ 課題に応じた支援方法や連携 ～

### 発　音（構音障害）

発音に誤りがあり、幼い話し方や発話が不明瞭になる。

通級で行っている指導

・口や舌の動きを高める運動。
・正しい音で発音する方法を学ぶ。
・正しい発音をスモールステップで練習し、定着を図る。　等

学級でできる支援・配慮

・言い直しなどはさせず、話の内容に耳を傾ける。
・積極的な発言や発表を促し、話すことに自信をもたせる。
・がんばっている子を応援する教室の環境作り。

### 吃　音

ことばを繰り返す、初めの音が出にくいなどなめらかに話すことが難しい。

通級で行っている指導

・吃音の正しい知識を身に付けさせる。
・心配事を相談し対応策を考える。
・声を出しやすくする方法を学ぶ。
・得意なこと、好きなことなどを通してのびのびと活動し緊張をほぐす。　等

学級でできる支援・配慮

・子どもの思いを聞き取り、話しやすい方法を一緒に考える。
・相槌や返事はゆったりとした口調で、安心して話せるやりとりを心がける。
・話し方よりも話の内容に着目する。

### 言語発達

知的発達は年齢相応だが、言葉を聞いて理解したり分かりやすく話したりすることが苦手。

通級で行っている指導

・言葉の数を増やす学習。
・正しい順番で文を組み立てる学習。
・物事を分かりやすく説明したり、状況に合わせて自分の思いを表現したりする学習。等

学級でできる支援・配慮

・ジェスチャーや絵や実物などの視覚的手がかりを添えて伝える。
・作文やスピーチは書き方のモデルを示したり文構成を一緒に考えたりする。
※お子さん一人一人、学びやすさが異なります。

### 難　聴

聴覚に障害があり、きこえにくさがある。補聴器や人工内耳を装用し、きこえを補う児童もいる。

通級で行っている指導

・聞き取りの力を高める学習。
・自身の聞こえ方、補聴器についての学習。
・発音練習やことばの学習。　等

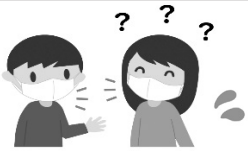
学級でできる支援・配慮

・はっきり短めの文で伝える。
・口の形や、文字、ジェスチャーなど視覚的な支援を行い、理解を補う。
・座席の配慮、椅子や机の脚にテニスボールを付けるなどの環境調整を行う。

在籍学級担任の先生と通級担当とで連携し、一人一人のお子さんの実態に合わせた効果的な支援方法を考えていきたいと思います。

## 感染症対策：難聴のある児童・生徒への理解と支援

# 「こんなことに困っています」



３月から突然の一斉休校となりましたが、感染防止対策をとりながら徐々に通級指導も再開となりました。

新しい生活様式、感染症への対策を進める中、通級では個別指導を通じて子どもの思いや保護者の不安を聞き取り、よりよい支援について考えています。指導を通して、こんな声が聞こえてきたので一部紹介します。

**Aさん**

「マスクをしていると声がこもって、友達や先生の話が聞き取りづらい。でも、マスクを外してとは言えないし…。」

**Bさん**

「マスクがあると、相手の言っていることが聞き取りづらいだけじゃなくて、口形や表情も分からないから、余計不安に感じる。」

## こんな配慮があるとありがたいです！

支援のツールとして：透明マスクやフェイスシールドは口元や表情がわかり子どもの安心につながります。

支援の方法として　：文字による視覚情報の活用、身振り・ジェスチャー、個別に確認をするなど、改めて聞こえにくさへの理解や配慮をお願いします。

## 〈卒業生保護者の声〉

### 吃　音

「ことばの教室に通って良かった」

「吃音はその子の持っている話し方の特徴なだけだよ」この一言に息子はどれほどの勇気をもらったのだろうと、今感謝しています。

周囲にからかわれたり障害者！と言われる事もある中で「これが僕の特徴だ。先生がそう言ってた。」と言い返せる知恵を頂きました。

２年生の時のクラス担任の先生が、クラスの子に「皆が帰れる日でもＥ君は、まだ勉強するんだよ！」と言ってもらったことで、卒業するまで早退してもからかわれることなく通級できました。

そのお陰で、今、他の方には吃音だと全くわからないように自分の調子に合わせた話し方ができるようになりました。

前向きで積極的に自信をもって取り組めるのは、ことばの教室で、吃音の正しい知識と上手な付き合い方を時間をかけて学ばせてもらえたお陰と感謝しています。あの時、通う事を決めて良かったと思っています。ありがとうございました。

### 難　聴

きこえの教室には６年間お世話になりました。毎回楽しんで取り組める課題を用意し、丁寧にコミュニケーションをとってくださいました。息子にきこえの教室に通ってよかった事を尋ねると、きこえの仕組みや人工内耳に関することを教えてもらったこと、と答えました。これらのことを適したタイミングでわかりやすくご指導いただいたことは、今後さらに自分のきこえについて理解し、受け入れていくことへの第一歩となったと思います。

また、息子はグループ活動をとても楽しみにしていました。他校にも難聴のお友達ができ、一緒に楽しんでいる姿を見られることが私も嬉しかったです。きこえの教室の保護者の皆様からは参考になるお話をたくさん聞くことができ、大変勉強になる場でもありました。

先生方をはじめ、お友達、保護者の皆様など多くの方に関わっていただき、充実した時間を過ごすことができましたことを、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

## 専門委員会

**■研究推進委員会**

難言教育には専門的な知識や指導技術が必要不可欠です。そこで、全教員向けに専門性向上を目的とした「専門研究会」、着任間もない教員向けの「基礎研究会」、専門性のさらなる向上を図る「事例研究会」「課題別研究会」を企画・運営しています。

児童・生徒のために充実した研修・研究が行えるよう努めます。

**■調査対策委員会**

各学級の実態を把握し、指導をより充実させるため、その時に生じた課題の解決に向けて活動しています。

・基本調査の集計、結果の報告
・都、区市教委の「提案書」作成
・都教委との意見交換会
（今年度は中止）
・関係団体との合同研究会記録等

**■広報委員会**

会員の皆様に役立つ、様々な情報を発信しています。

・会報（年二回）・紀要
・継送電話連絡網・設置校一覧

それぞれについて、お気づきの点がありましたら、お知らせください。

また、ホームページに掲載したい事柄の相談もお受けしています。

## 大会・学会・研究会などのお知らせ ※最新の情報はＨＰ等でご確認下さい。

**中　止**

- **第49回全難言協全国大会（岡山）**
  ＊大会の内容については年度末の機関紙にて紙上発表
- **全難言協夏期全国研修会「はじめのいっぽ 2020」**
- **第53回全国情緒障害教育研究協議会（東京）**
- **第53回日本言語障害児教育研究大会**
- **今年度のＷＩＳＣ - Ⅳ知能検査講習会すべて**

**開催予定**

**第54回全日本聾教育研究大会（埼玉大会）**
＊申し込み終了
【大会主題】自ら学びを深め、たくましく生きる力を育むろう教育
【日程】令和2年10月8日(木)～９日(金)
【開催方法】WEB会議システムを利用
【情報発信場所】埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園
埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園
【問い合わせ先】埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園内
〒 331-0813　埼玉県さいたま市北区植竹町2－ 68
TEL : (048) 663-7525　FAX : (048) 660-1906
E-mail : zennichirou-saitama@ohmiya-sd.spec.ed.jp

**日本LD学会第29回大会（兵庫）**
【日程】令和2年10月10日(土)～11日(日)
【開催方法】WEBを用いたオンライン学術集会
【問い合わせ先】一般社団法人日本 LD 学会事務局
〒 108-0074　東京都港区高輪 3-24-18　高輪エンパイヤビル 8F
Tel : 03-6721-6840

**K-ABCアセスメント講習会（2020）**
・日本版KABC-Ⅱアドバンスト講習会
【日程】令和2年11月21日(土)～22日(日)
【会場】林野会館（東京都文京区）
・日本版KABC-Ⅱベーシック講習会
【日程】令和3年1月30日(土)～31日(日)
【会場】林野会館（東京都文京区）
【問い合わせ先】日本K-ABCアセスメント学会講習会事務局
E-mail : honbu-koushu@k-abc.jp

## 事務局より

今年度の事務局は多摩東ブロックと、ホームページ運用のために多摩北ブロックと城西ブロックから1名ずつで担当します。

都難言協は新型感染症拡大防止対策のため、国や都の動向を踏まえたうえで、状況に合わせて効果的に活動を行ってまいります。またホームページを活用し、情報の周知に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

**―編集後記―**

今年度はコロナによる休校の影響で会報の発行が9月と1月に延期になりました。

ご多用の折り、原稿をお寄せいただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

都難言協会報
代表者（会　　長）渡邊　俊一
責任者（広報委員長）山川　順子
発行日　令和二年九月一日
発行数　五五〇〇部
印　刷　有限会社　正陽印刷